

教 科		科 目		担 当 者	
芸術科		音楽 I		佐々木 優子	
		単位数：2 単位			
指導目標					
1. 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。					
2. 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。					
3. 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	教育出版 音楽 I Tutti	
スクーリング	2 単位時間×3 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/17	日本人と音楽 (音楽 I 学習について)		第 1 回 4/21(日)、4/24(水) 基礎的なリズムを確認し、身体を使ったボディーパーカッションを体験する。	
2	4/17	イタリアの歌	第 1 回 5/17 (火)	「ミュージックベル」を演奏する。 楽譜を追うこと、五線上の音の高さ、音符の長さ、拍子などの音楽要素を体験する。	
3	4/24	フランスの歌			
4	5/1	いろいろな声	第 2 回 5/15 (水)	第 2 回 6/9(日)、5/29(水) ギター各部の名称、楽器の持ち方、調弦の方法、ダイアグラムの読み方、タブラチュア譜の読み方、ストローク奏法を学ぶ。 「G」「Em」「Am」「D7」を使いギター演奏する。	
5	5/8	いろいろな楽器			
6	5/15	スペインの音楽 (ギター)	第 3 回 5/29 (水)	第 3 回 7/21(日)、7/17(水) 箏の調弦方、奏法を学び「さくらさくら」を演奏する。 日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の抑揚を生かしながら短い言葉にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。	
7	5/22	ドイツ・オーストリアの歌			
8	5/29	日本のうた	第 4 回 6/12 (水)		
9	6/5	日本のしらべ			
10	6/12	作曲家「モーツァルト」	第 5 回 6/26 (水)		
11	6/19	鑑賞「展覧会の絵」			
12	6/26	中南米の音楽	第 6 回 7/10 (水)		
13	7/3	アジアの音楽			
14	7/10	音楽の歴史 (1)			
15	7/17	音楽の歴史 (2)			
16	7/24	期末試験について			
17	7/31	期末試験について			
18	8/7	音楽の不思議	期末試験：9/2 (月) 試験範囲：第 2 回～第 13 回、 レポート第 1 回～第 6 回		
19	8/14	指揮者の仕事			
20	8/21	音楽のくすり			

教 科		科 目		担 当 者	
芸術科		音楽 I		佐々木 優子	
		単位数：2 単位			
指導目標					
1. 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。					
2. 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。					
3. 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	教育出版 音楽 I Tutti	
スクーリング	2 単位時間×3 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/17	日本人と音楽 (音楽 I 学習について)		第 1 回 4/21(日)、4/24(水) 基礎的なリズムを確認し、身体を使ったボディーパーカッションを体験する。	
2	4/17	イタリアの歌・階名	第 1 回 5/7(火)	「ミュージックベル」を演奏する。	
3	4/24	フランスの歌・五線		楽譜を追うこと、五線上の音の高さ、音符の長さ、拍子などの音楽要素を体験する。	
4	5/1	いろいろな声・音部記号	第 2 回 5/15(水)		
5	5/8	いろいろな楽器・音符①			
6	5/15	スペインの音楽 (ギター)・音符②	第 3 回 5/29(水)	第 2 回 6/9(日)、5/29(水) ギター各部の名称、楽器の持ち方、調弦の方法、ダイアグラムの読み方、タブラチュア譜の読み方、ストローク奏法を学ぶ。	
7	5/22	ドイツ・オーストリアの歌・拍子		「G」「Em」「Am」「D7」を使いギター演奏する。	
8	5/29	日本のうた・変化記号	第 4 回 6/12(水)		
9	6/5	日本のしらべ・強弱記号			
10	6/12	作曲家「モーツァルト」	第 5 回 6/26(水)		
11	6/19	鑑賞「展覧会の絵」			
12	6/26	中南米の音楽・テーブルミュージックを作ろう	第 6 回 7/10(水)	第 3 回 7/21(日)、7/17(水) 箏の調弦方、奏法を学び「さくらさくら」を演奏する。	
13	7/3	アジアの音楽・言葉とメロディー		日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の抑揚を生かしながら短い言葉にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。	
14	7/10	音楽の歴史 (1)			
15	7/17	音楽の歴史 (2)			
16	7/24	期末試験について			
17	7/31	期末試験について			
18	8/7	音楽の不思議			
19	8/14	指揮者の仕事	期末試験：9/2 (月)		
20	8/21	音楽のくすり	試験範囲：第 2 回～第 13 回、 レポート第 1 回～第 6 回		

教 科	科 目		担 当 者
芸術	美術 I	単位数： 2 単位	本多 優貴

指導目標

- 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。様々な材料を使い自分なりの工夫を加えていく。
- 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。画題に沿ってアイデアを練り、具体的に形を作っていく。
- 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を最後まで仕上げることにより達成感を味わう。

高校通信講座	あり	講座数：全 18 回	教科書	光村図書 美術 I
スクーリング	2 単位時間× 3 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	100 点法 5 段階評定

回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	4/19(金)	入門講座		第 1 回 4/21(日)、4/24(水) 文字に触れてみよう！
2	4/19(金)	鉛筆デッサン①	第 1 回 5/7(火)	文字の形や特徴に触れてもらい、 新たな文字を制作する。また課題 では、着色することが多いので基 礎的な色彩技術も学ぶ。
3	4/26(金)	鉛筆デッサン②		
4	5/3(金)	文字デザイン①	第 2 回 5/17(金)	
5	5/10(金)	文字デザイン②		
6	5/17(金)	コラージュ①	第 3 回 5/31(金)	第 2 回 6/9(日)、5/29(水) 木版画
7	5/24(金)	コラージュ②		
8	5/31(金)	文様①	第 4 回 6/14(金)	第 6 回レポート内容 あらかじめ、自宅で描いてきた下 書きを転写し、彫刻刀の彫り跡を 生かしながら彫っていく。白と黒 の配分に注意をする。刷りの作業 では均等にインクを塗りバレンで かすれなどが無いように力を入れ る。気に入ったものができるまで 何枚か刷る。
9	6/7(金)	文様②		
10	6/14(金)	様々な素材をつかって造形する (オブジェ制作) ①	第 5 回 6/28(金)	第 3 回 7/21(日)、7/17(水) アクションペインティング 筆以外にも様々な材料 (歯ブラシ、 型紙、スポンジ、ボール紙、ストロ ー、マーブリングなど) を使い自分 のイメージを抽象表現する。材料 の特徴などを生かしてひとつの作 品として仕上げていく。
11	6/21(金)	様々な素材をつかって造形する (オブジェ制作) ②		
12	6/28(金)	木版画①	第 6 回 7/12(金)	
13	7/5(金)	木版画②		
14	7/12(金)	色彩①		
15	7/19(金)	色彩②		
16		なし		
17		なし		
18	8/9(金)	鑑賞		
19	8/16(金)	鑑賞		
20	8/23(金)	鑑賞 (終わりに)		

教科		科目		担当者	
芸術科		書道 I ①		単位数：2単位	石見 仁唯奈
指導目標					
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。中国や日本の古典に触れ、書道を愛好する心情を育成し、表現能力の習熟や鑑賞力を伸ばす。					
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。					
(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。					
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
高校通信講座	あり（書道 I）		教科書	光村図書 書 I	
スクーリング	2単位時間×3回	合格時間数4時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 3 回	合格枚数 3枚	副教材	なし	
期末試験	なし		評定	100点法5段階評定	
回	作品課題	作品テーマ	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	楷書：(欧陽詢) 九成宮醜泉銘 「清泉」 (教科書20頁) 「聖人之徳」 (教科書19頁)	1. 初唐の三大家のひとりと言われる欧陽詢の厳正な楷書の美しさを学ぶ。 2. 点・角のはっきりした縦に長い(背勢)について学ぶ。	第1回 5/16	第1回 <u>A: 4/21 W: 4/24</u> ・第1回作品課題 基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「清泉」「聖人之徳」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	
2	楷書：(虞世南) 孔子廟堂碑 「天河」 (教科書16頁) 「丹書表瑞」 (教科書15頁)	1. 初唐の三大家のひとりと言われる虞世南の規範性に富んだ、温雅な楷書を臨書し、鑑賞する。 2. 丸みのある穏やかな線(向勢)について学ぶ	第2回 6/13	第2回 <u>A: 6/9 W: 5/29</u> ・第2回作品課題 基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「天河」「丹書表瑞」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	
3	楷書：(褚遂良) 雁塔聖教序 「春光」 (教科書24頁) 「蓋聞二儀」 (教科書22頁)	1. 初唐の三大家のひとりと言われる褚遂良の弾力を生かした軽快な筆づかいを学ぶ。	第3回 7/11	第3回 <u>A: 7/21 W: 7/17</u> ・第3回作品課題基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「春光」「蓋聞二儀」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	

※【 面接指導日の注意 】

1. 面接時間数が少ないので、すべてに出席するようにしよう。
2. 用意するもの…書道用具(大筆、小筆)、半紙、新聞紙 [忘れず持参しよう]
3. 面接指導日等はよく時間割を確認し、受講すること。

※【 書道作品の提出方法ロイロノート 】

1. タブレットなどのカメラで、書道の作品の写真を撮る。(ロイロノート内のカメラ機能を使うと便利)

教 科		科 目		担 当 者	
芸術科		書道 I		石見 仁唯奈	
		単位数： 2単位			
指導目標					
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。中国や日本の古典に触れ、書道を愛好する心情を育成し、表現能力の習熟や鑑賞力を伸ばす。					
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広くし理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。					
(2) 書の良さや美しさを感じ意図に基づいて構想し表現を工夫したり作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。					
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
高校通信講座	あり	講座数：全18回	教科書	光村図書 書 I	
スクーリング	あり (書道 ⑥)		学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし	
期末試験	なし		評 定	100点法5段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/18	入門講座 (用具説明)		第1回 A：4/21 W：4/24	
2	4/18	書体説明	第1回 5/7(木)	・第1回作品課題 基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「清泉」「聖人之徳」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	
3	4/25	楷書			
4	5/2	行書	第2回 5/16(木)	第2回 A：6/9 W：5/29	
5	5/9	隸書			
6	5/16	篆書	第3回 5/30(木)	・第2回作品課題 基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「天河」「丹書表瑞」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	
7	5/23	草書			
8	5/30	かな	第4回 6/13(木)	第3回 A：7/21 W：7/17	
9	6/6	九成宮醴泉銘の書き方 (楷書)			
10	6/13	孔子廟堂碑の書き方 (楷書)	第5回 6/27(木)	・第3回作品課題基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「春光」「蓋聞二儀」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	
11	6/20	雁塔聖教序の書き方 (楷書)			
12	6/27	顔氏家廟碑の書き方 (楷書)	第6回 7/11(土)		
13	7/4	蘭亭序の書き方 (行書)			
14	7/11	風信帖の書き方 (行書)			
15	7/18	曹全碑の書き方 (隸書)			
18	7/25	泰山刻石の書き方 (篆書)			
19	8/1	いろは書き方① (かな)			
20	8/8	いろは書き方② (かな)	期末試験：なし		